

より強い中学校区のきずなづくりをめざして

【周南市 周陽中学校区】

地域の概要

周陽中学校区は、周南市の南東部、周南団地の一角に位置します。周陽・桜木・遠石の3つの小学校区からなり、このうち遠石小学校は、約5割の児童が周陽中学校に入学しています。

地域内には、高等学校や大学・高等専門学校があり、教育環境に恵まれています。

人口	18,982人	
世帯数	8,638世帯	
対象校及び児童生徒数	周陽中学校	462人
	周陽小学校	350人
	桜木小学校	352人
	遠石小学校	422人

※遠石小学校は約5割が周陽中学校に入学

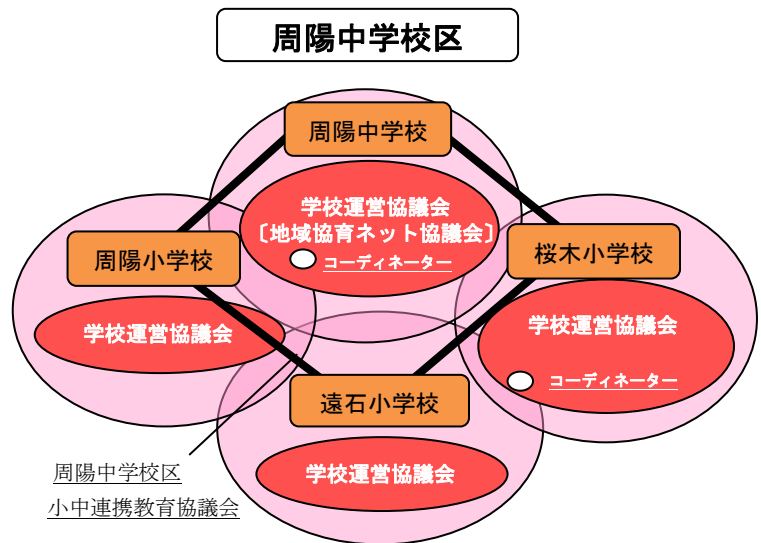
組織の内容

周陽中学校区では、周陽中学校の学校支援地域本部における地域教育協議会と学校運営協議会の機能を一つにした「地域協育ネット協議会」を推進母体としています。

委員構成は、地域住民・公民館主事・学識経験者・地域事業所代表・保護者・教職員となっています。委員の中には、小学校元PTA役員や各小学校区での地域活動の中心となっておられる方が所属されているので、協議会で話し合われた内容は、各小学校の学校運営協議会委員や地域関係者に広く伝わるようになっていきます。

こうした仕組みを活用して、毎年7月上旬に実施される中学生のボランティア活動について協議されたことを受け、各委員が関係各所、地域住民へ協力を呼びかけるなど、「地域協育ネット協議会」の取組は着実に地域へ広がっています。

また、小中連携教育協議会でも、小中連携をさらに充実したものにするために、出前授業や授業公開など学習の充実に関すること、進路や生活指導に関することなどが学期に1回程度話し合われています。各校の取組が紹介されることで、互いの連携をより深める場になっています。



特色・重点的な取組

- コミュニティ・スクール便りを月1回発行しており、学校運営協議会の様子や小中連携・地域との協働の様子をまとめ、保護者や関係機関などに配付しています。
- 小学校などを会場にして行われる地域イベントに、中学生がボランティアとして参加しています。地域の方は、当日の子どもたちの活動支援を行っています。



主な活動の紹介

【ボランティア活動（周陽中学校）】周陽中学校が行うボランティア活動への参加を地域に呼びかけたところ、地域から9名の方が参加されました。今年度初めて地域に声をかけて実施しましたが、校内の除草作業や剪定作業を地域の方に行っていただいたおかげで、例年に比べ効率的に活動できました。

【正月飾りづくり（桜木小学校）】桜木小学校の体育館を会場に地域の人などにサポートをお願いして、正月飾りをつくる体験活動を行いました。毎年保護者や地域住民が80～90名程度参加しています。今年も、周陽中学校の生徒がボランティアスタッフとして参加し、準備や片付け、作品作りの補助を行いました。

【家庭科実習（周陽小学校）】家庭科の授業に地域の方にお越しいただいて、児童にきめ細かな指導をしていただきました。講師の先生には、この他に年間10回行われるクラブ活動の中で、裁縫の指導もしていただいています。児童も目の前で見る講師の手際のよい動きやきれいな仕上がりをしながら、一生懸命作品づくりを行いました。

【サマースクール（遠石小学校）】希望者を募り、夏休みに、サマースクールを実施しました。これまで算数で学習した内容をプリントにして、教員や学校支援ボランティアの支援を受けながら、効率的に学習しました。地域の方に答えを確認していただいたことで、たくさんの問題を解くことができました。



中学生ボランティア活動



正月飾りづくり



家庭科実習



サマースクール

成果と課題

今年度も各校の学校運営協議会では、地域との連携による充実した取組が行われています。

出前授業などの教員間の交流や小中連携教育協議会での小・中共通の課題協議が定着してきたことで、小中連携がより確かなものとなっています。また、学校支援ボランティアの一環として行われた中学校敷地内の除草作業に、今年度初めて、桜木地区から地域の方が参加されるなど、学校の活動に対する地域理解も進んでいます。

地域協育ネット協議会では、地域の幼児児童を、周陽中学校へ入学する子どもとして、地域ぐるみでかかわろうとする気運が年々高まってきています。今後は、学校と地域が協働する具体的な取組を推進するための運営体制の充実や、活動の更なる周知が必要となってきます。

今後の取組

学校と地域をつなぐキーパーソンであり、地域活動のネットワークづくりの要であるコーディネーターに対して、更に活躍できるような仕組みの工夫や研修会等の情報提供など、実際のコーディネート活動につながるような支援を充実させていきたいと考えています。